

あーがー

第1回定例会

決まったこと	3年度予算 質疑	>>> P.2
	討論・条例・補正予算 等	>>> P.5
議会構成	議会構成変更	>>> P.7
一般質問	3人が町政を問う	>>> P.8
委員会報告	総務厚生・産業他	>>> P.12
まちの元気	原山 松見さん夫婦	>>> P.14

令和3年度予算

祝橋架替工事始まる 令和5年 秋の完成目指す



工事が始まった祝橋

住民の安心 安全の確保

令和元年度から進めてきた祝橋整備事業は、令和5年、秋頃の完成に向け、本格的に工事が始まる。同時に石寺橋の整備や町道の拡幅改良工事、河川護岸整備なども計画的に実施される。また、和東保育園の耐震と大規模改修工事に係る設計を行う。木造住宅耐震改修

当初予算は、3月10・11日に開催した全議員で構成する予算特別委員会で審議し、令和3年度に取組む事業や予算内容について質疑を行いました。討論、採決の結果、一般会計及び6つの特別会計の当初予算を原案通り可決しました。

事業補助金の交付、橋梁の点検、長寿命化事業なども継続して実施される。

茶源郷行政情報配信システム（光ボックス）の更新・機能強化やリニューアルされたホームページで、災害時等における情報伝達などの強化に取り組まれる。

子育て支援

保育園から中学生までの給食費の無償化や小・中学生の修学旅行費の無償化、18歳までの医療費無償化なども継続して実施。

大学生等奨学金給付事業も支給内容を見直し、継続して実施される。

交流人口・関係 人口の拡大を目指して

令和2年度に完成した交流ステーション（農産物直



オープンが待たれる交流ステーション

売所）では交流の場と情報発信の拠点として、住民が育てた野菜の販売や手工芸品の出展など住民を中心とした運営を計画され、地域ブランドの普及・販売など進められる。

ゴルフカートを利用したグリーンスローモビリティ周遊観光事業は、4月から有償で運行され、石寺地内を周遊される。今後、グリ

ーンスローモビリティの運行も含め、公共交通の課題も早急に検討していかなくてはならない。また、コロナの影響で1年延期となり来年5月に開催されるワールドマスターズゲームズは、大会に向けた準備も本格的に進め、機運の醸成や自転車競技の視野を広げる取り組みを進められる。



ゴルフカートで石寺地内を周遊

町長選控え骨格予算

新型コロナウイルス ワクチン接種始まる

コロナ対策

コロナウイルス感染拡大防止のため、ワクチン接種を集団接種で5月末から開始される。4月中頃に65歳以上の方に接種券を発送され、役場に設置されているコールセンター（電話781-3180）に接種の予約をする。



厳重に保管されるワクチン



接種会場のB&G海洋センター

総合保健福祉施設

2年度に基本計画を策定され、今後、候補地の調査等実施し、事業を進められる。

感染予防に注意しながらスムーズに接種を行っていただきたい。

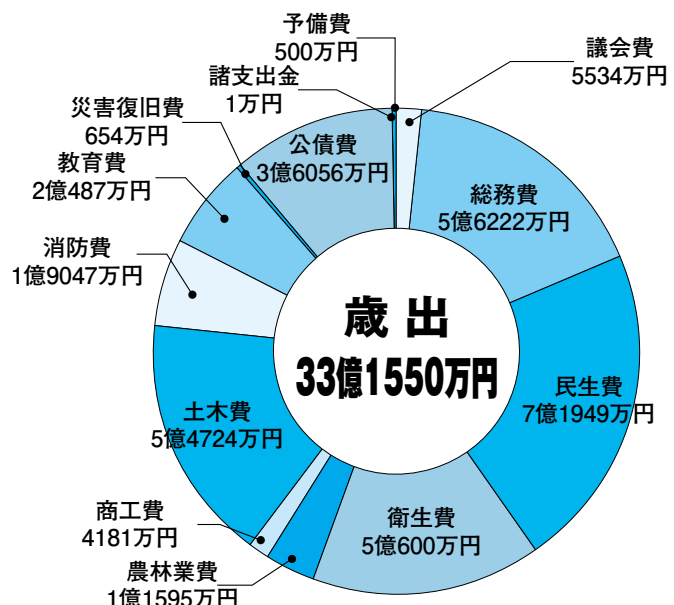
【3年度の主な予算】

- 祝橋整備事業 2億8820万円
- 町道撰原下島線拡幅改良事業 5513万円
- 石寺橋整備事業 3812万円
- 茶源郷行政情報配信事業 1001万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 862万円
- 移住・定住促進事業 812万円
- 交流ステーション（農産物直売所）管理事業 428万円
- グリーンスローモビリティ周遊観光事業 241万円
- 路線バス高齢者利用促進事業 80万円

特別会計予算

- ・湯船財産区 480万円
- ・国民健康保険 7億1,090万円
- ・簡易水道事業 1億9,760万円
- ・下水道事業 2億8,240万円
- ・介護保険 7億1,800万円
- ・後期高齢者医療 7,750万円
- 合計 19億9,120万円

各特別会計の予算は、原案通り可決しました。



主な質疑

問 ワクチン予約相談体制については。

答 コールセンターを基本に、高齢者の方は、ヘルパーなどを介しての連絡などの手段も検討する。

問 ワクチン接種の記録はどうするか。

答 1回目の接種後、実施日やワクチンの記録をデータとして残し、28日後の2回目の接種にのぞむ。

問 ワクチン接種に関する副反応などの情報をどう伝えるか。

答 広報紙・回覧・ホームページに加えて、個別の通知も行なう。

問 コロナ対策として、役場の働き方改革の取り組みは。

答 早めの休息、有給休暇の取得等体調管理を万全にする事、テレワークの活用等接触を少なくするよう気をつけている。



問 国保診療所の専門職（検査技師・薬剤師）を正職で配置できないか。

答 山城急性期病院との連携の中で医師の確保・施設の充実も含め検討したい。

問 グリーンスローモビリティについて、観光ルート以外での運用についてどうか。

答 実証実験の結果を検証し、また路線バス対策協議会に諮って検討したい。

問 犬打峠トンネル開通に向けて奈良交通バスへのアクセスの為にコミュニ

ティーバス導入への道すじは。

答 この一兩年にも研究を進めたい。

問 緊急浚渫推進事業800万円の使いみちは。

答 最初に舟尾八王寺線の工事を行なう。

問 祝橋架け替え工事については。

答 約4億円の予算で2年後の完成を目指す。首尾よく入札できるよう広報にも万全を期す。

問 地籍調査を速やかに進めたい。

答 職員と業者が一緒に現地に入り調査する方式により以前よりはスピーディーになった。今後は、GPSと航空写真を元に測量する試験が行なわれており、さらに早まる事が考えられる。

問 和東小学校に設置されたマンホールトイレの使い方については。

答 7月に避難所の設置、マンホールトイレの使用について訓練する計画で、全10基のうち半分は車椅子対応であり、雨よけ、夜間照明も可能だ。

問 国の重要文化的景観選定に向けて対応は。

答 現在調査中で令和4年度に申請予定である。この選定を受けると保全の為の補助金の対象となる。

問 茶源郷配信システム更新に関する進め方は。

答 コロナ対策交付金を活用してタブレット500台をもって現在の機器を更新する。NTTと協議中。

問 会計年度任用職員、中でも専門職員の最低賃金が低すぎるのでは。

答 町職員に準じて、また類似団体を見ながら給与を決めている。

問 雇用促進協議会の予算360万円の使いみちは。

答 事業終了に伴う残務処理費用だ。

問 和東茶カフェの決算や運営の仕方が不透明なので適切な資料の提出を求めたい。

答 運営方法や計画内容を出示してもらおう。

問 総合福祉施設について、計画されている役場周辺の地は災害時最悪の場合、役場と共倒れになるリスクがあるが、充分な検証をされたのか。

答 災害リスクのみならず、総合施設としての機能を考え、様々な観点から、審議会を経た上で、私（町長）が判断した。

問 シルバー人材センターの設置はどうか。

答 東部未来づくりセンターで検討中だが、仕事場の確保、労働力の確保ともに課題である。

反対討論

岡本正意 議員

コロナ感染収束のめどが立たない中、住民の命と健康、暮らしとなりわいを守る取組は、緊急な対策が求められる。骨格予算とはいえ、当初から反映すべきこと、改善すべきことが多くある。

具体的には、①コロナ感染対策では、定期的な検査実施の方針がなく改善が必要②奨学金事業はむしろ後退、茶業事業者への支援も平時と同様、支援の強化・改善を求める③住宅整備に責任を持って取り組むべき④公共交通の検討と具体化に正面から取り組むべき⑤総合保健福祉施設は科学的な検証を行い、安全性の根拠を示すべき⑥観光事業の取り組みや在り方の見直しを⑦連合による教育委員会の運営はふさわしくない。

賛成討論

岡田泰正 議員

コロナウイルス感染症に伴う町税の大幅な減収が見込まれる中、様々な施策のさらなる充実、持続的な発展を目指した予算編成となっている。

具体的には、①コロナワクチン接種に係る体制整備を着実かつ迅速に進め、その対策に取り組んでいる。②和東保育園の耐震改修工事や祝橋の架替工事、河川しゅんせつ護岸整備など、住民の命と暮らしを守るため、有利な財源を活用した積極的な取り組み③交流ステーションの運営開始により地域の交流促進の拠点として交流人口の拡大を目指した取り組み④農業体験を通じた週末移住など移住・定住の施策の推進など和東町の将来像を描いたまちづくりとなっている。

※討論は、いずれも一般会計予算に対するものです。

条例・補正予算等すべて可決されました

条例

国民健康保険条例の改正

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴うもの。

国民健康保険税条例の改正

資産割の廃止も含め、国民健康保険税の税率を見直す。

介護保険条例の改正

保険料率の変更及び低所得者対策として所得階層別保険料区分等を改正。他、介護保険法の改正により指定居宅介護支援等の事業の関係条例2件を改正。

グ린ティ和東の設置及び管理に関する条例の改正

「交流ステーション」の設置に伴う改正及び和東茶カフェ使用料の改正。

有償旅客運送に関する

条例の制定

地域住民及び観光旅客その他の当該地域（石寺）を来訪される方の交通手段を確保するため、道路運送法の規定に基づき、有償の旅客運送を実施する。運行路線は石寺ルート、利用料は、大人1000円、小人500円、幼児無料。

職員の服務の宣誓に関する条例の改正

会計年度任用職員（嘱託職員・臨時職員）が地方公務員法の規定を受けけることによる改正。

契約の変更・締結

体験交流センター耐震補強及び改修工事請負契約の変更
雨漏り対策による屋上軒桶改修工事等。契約金額205万7000円増額。

体験交流センタートイレほか改修工事請負契約の締結

1、2階トイレ・建具・

内装・塗装・表示設備等改修工事。契約金額は、571万8000円。

その他

和東山の家の指定管理者の指定について
引き続き、管理者に和東町活性化センターを指定。

補正予算

一般会計

新型コロナウイルス感染症対策をはじめとした各事業の完了・精査に伴う減額等

国民健康保険特別会計

コロナウイルス感染症の影響による診療収入の減額等

簡易水道事業特別会計

町債の減額等

下水道事業特別会計

消費税納付金の減額等

介護保険特別会計

居宅介護サービス給付費の減額等

議員提案

和東町議会会議規則の一部改正

男女の議員が活動しやすい環境整備として、出産、育児、介護など議員として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、議会への欠席事由を整備し、出席については産前・産後の欠席期間を規定した。また、請願書の提出について、押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改める。

提出者 岡田 泰正議員 全員賛成で可決

意見書

第1回定例会（3月）に次のとおり意見書が提出されました。

① 扶養照会の撤廃など生活保護制度の改善を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

賛成者 3人

反対者 6人

否決

② 安心できる介護保険制度への改善を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

賛成者 2人

反対者 7人

否決

令和3年第1回定例会(3月)に、提出された議案のうち賛否がわかったもの。

各議員の賛否

審議結果	会議区分	議案名	議員名										
			岡田 勇	高山 豊彦	藤井 清隆	村山 一彦	吉田 哲也	井上 武津男	岡田 泰正	岡本 正意	畑 武志	小西 啓	
可決	委	令和3年度和東町一般会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
可決	委	令和3年度和東町国民健康保険特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
可決	委	令和3年度和東町下水道事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
可決	委	令和3年度和東町介護保険特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
可決	委	令和3年度和東町後期高齢者医療特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
可決	本	グリーンティ和東の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
可決	本	和東町有償旅客運送に関する条例の制定について	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	-
可決	本	和東町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
可決	本	和東町介護保険条例の一部を改正する条例	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	-
否決	本	扶養照会の撤廃など生活保護制度の改善を求める意見書	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	-
否決	本	感染症対策の抜本的強化を求める意見書	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	-

※会議区分 本は本会議 委は予算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない。

小西 啓議長は本議会の採決に、岡田 勇予算特別委員長は予算の採決に加わらない。

議会構成が変わりました

議長に 岡田 泰正 氏



議長
岡田 泰正

令和3年3月24日の定例会で、議長や常任委員などの議会構成を変更しました。

議長 岡田 泰正

副議長 岡田 勇

監査委員 畑 武志

委 員 会

議会運営委員会

委員長 小西 啓
副委員長 吉田 哲也
委員 高山 豊彦
" 村山 一彦
" 岡田 勇

産業常任委員会

委員長 吉田 哲也
副委員長 井上 武津男
委員 藤井 清隆
" 小西 啓
" 岡田 泰正

総務厚生常任委員会

委員長 村山 一彦
副委員長 高山 豊彦
委員 岡本 正意
" 畑 武志
" 岡田 勇

広報編集委員会

委員長 小西 啓
副委員長 村山 一彦
委員 藤井 清隆
" 吉田 哲也
" 岡田 泰正

一部事務組合議会

相楽郡広域事務組合議会議員

岡田 泰正
岡田 勇

相楽中部消防組合議会議員

岡田 泰正
小西 啓

国民健康保険山城病院組合議会議員

畑 武志
高山 豊彦

広域連合議会

京都府後期高齢者医療広域連合議会議員

井上 武津男

京都地方税機構広域連合議会議員

藤井 清隆

相楽東部広域連合議会議員

岡田 勇
畑 武志
井上 武津男
村山 一彦

一般質問

町政を問う！ 提案する！

3月3日に行った一般質問には、3人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①村山一彦議員（9ページ）

1. 和東町の新規事業に対する資金繰りは
2. コロナワクチン接種の準備と対応は

②高山豊彦議員（10ページ）

1. 公共交通体制の取り組みや課題、今後の対策は

③岡本正意議員（11ページ）

1. 定住人口を増やすために
2. 「住民の足」をどう確保するのか
3. 総合保健福祉施設の整備場所選定の根拠は
4. 「コロナ禍2年目」への対応は



一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。





総合保健福祉施設、祝橋の架け替え等大型

村山 一彦 議員

プロジェクトが続くが資金調達は

町長

国の国土強靱化政策に乗り、過疎債、緊急防災対策事業債を活用していく

問 総合健康保険福祉施設に、役場機能が入るのか。

答 福祉課長
福祉課、地域包括支援センターなどが中に入る事を想定している。

問 総合保健福祉施設の資金調達は。

答 福祉課長
基本計画では11億円前後の整備費を要する。一般財源、起債、地域福祉資金での調達を考えている。

問 祝橋、石寺橋の架け替え工事の資金調達は。

答 建設事業課長
国庫補助事業の採択を受け、財源については国庫補助の事業として進めたい。

答 総務課長

国庫補助事業として祝橋整備事業、令和3年度以降の計画予算が約4億円、石寺橋整備事業7億5000万円、和東保育園耐震改修事業が1億7000万円、総合保険福祉施設整備事業、これについては財政サイドでは11億6000万円

程度の予定をしている。

問 今年度は税収減が確実視されるが、国よりの補填はあるのか。

答 総務課長
町民税、固定資産税等前年度比2440万円の減収を見込んでいる。固定資産税として地方税減収補填特別交付金として200万円計上、住民税の減収分については75%相当が令和4年度普通交付税で算定される。



耐震改修される和東保育園

いて
コロナワクチン接種につ

問 和東町の高齢者(65才以上)は何名か。

答
1月1日現在で1753名です。

問 クーポン券の発行準備は進んでいるのか。

答
国や京都府からの連絡待ちの状態でワクチンの確保が出来次第、接種日などを印刷して封入発送する。

問 B&Gで集団接種と聞いているが、そこまでの交通手段は。

答 福祉課長
ご自身で来られる方は直接会場へ来ていただき、交通手段がない方は、和東町社会福祉協議会に委託している外出支援サービスで、会場まで来ていただく。費用については町が全額負担する。

答 福祉課長

事前に住民の皆様にご診票を配布。受付後看護師により内容などを確認させていただく。

問 接種については住民票がある地域で接種となっているが、学校の先生や町職員の他地域から勤務されている方の接種はどうなるのか。

答 福祉課長
基本的には住民票のあるところ。ただ住民票を置かれたまま遠方に仕事、または施設等に入っておられる方については市町村で柔軟な対応をさせていただく。

問 高齢者施設のわらくの入居者はどのような対応にするのか。

答 福祉課長
わらくの施設の中で接種を考えている。嘱託医の先生、施設長と協議、検討している。

問 問診に時間がかかりそうだが対策は。



高山 豊彦 議員

町長

将来的な公共交通体制への考えは！

3年後の宇治木屋線トンネル完成を見据えた交通体制の検討が必要。

公共交通体制の取り組みを問う

問 昨年10月・11月のグリーンスローモビリティの実証実験の利用状況及び今後の対策は。

答 地域力推進課長

土曜・日曜・祝日運行の石寺ルート263人、平日の住民向け東和東ルート152人、西和東ルート57人、合計472人の利用があった。石寺ルート利用者の内91%方が「観光手段としては良い」。また、住民向けのルートでは74%の方が60歳以上の利用であり、「家の近くまで来てほしい」「平日の毎日運行してほしい」「郵便局や役場まで運行してほしい」などの声があった。今後も新たな移動手段としての利活用を検討していきたい。

問 昨年の奈良交通の利用状況及び、運転免許返納者に配布したICカードの利用状況と、今後の高齢者等の利用拡大への対策は。

答 総務課長

令和元年10月から令和2年9月30日までの奈良交通の利用状況は、延べ6万5744人で1日当たり約180人、1便あたり約75人。路線収入1675万4000円、運行経費7876万4000円、差引マイナス6201万円となり、国庫補助金3284万円、本町の補助金2380万3000円となっている。令和2年度の運転免許返納者は配布数14人で延べ86回の利用があった。令和3年度予算で数え年70歳の方にバスに乗っていただける機会づくりとして、敬老記念品にICカード1万円分の贈呈を予定している。



問 昨年の地域公共交通会議や路線バス等対策協議会の開催回数は。

答 総務課長

地域公共交通会議は2回開催、路線バス対策協議会は奈良交通への補助金の関係から3月15日に1回目を予定している。

問 路線バス対策協議会は固定した委員で、目標年度を定めた具体的な議論を進める体制が必要では。

答 総務課長

3年後を見据え専門部会の立ち上げを検討したい。

問 木屋地域で利用されているオンデマンド型タクシートの利用地域の拡大は。

答 総務課長

現在のところ広げる考えはない。

問 「自宅の近くから」との住民のニーズにこたえるため、オンデマンド型の乗合タクシーや地域交通から奈良交通への乗り換え等、連携した体制が必要では。

答 町長

高齢者にとっても住みやすいまちづくりとの観点から、可能な限りみんなが知恵を出し合うことが大事と考える。

問 国が進める新モビリティサービスによる利用しやすい交通体制の構築が必要。

答 町長

国等の動きを参考に、高齢化社会に対応したまちづくりが必要と考える。





住宅の整備、確保など今こそ

岡本 正意 議員

定住人口増加へ推進を

町長

空き家の利活用を進めつつ、住宅整備へ民間との協議を進めたい

問 若い世代やファミリー向けの町営住宅の整備を。

答 町長 一般向け住宅建設の計画はなく、民間を通じた取組も実現していない。当面は空家活用に重点を置きたい。

問 空家活用だけでは限界がある。民間の力を借りることも含め、空家以外の選択肢を示すことが必要では。

答 町長 民間との条件が整えば進めるべきと考える。

問 役場が「働く場」として役割発揮し、専門職の配置や、それを推進する修学支援の実施を。

答 町長 介護や建設分野での専門職の確保を図ってきた。総合保健福祉施設整備に向け適正な人員配置は必要。

問 コーディネーターや「案内人」の配置など、移住をサポートする体制整

備を。

答 地域力推進課長

コーディネーターの専任配置等の導入も検討したい。

「住民の足」をどう確保するか

問 住民向けのカーポート運行は断念したのか。

答 町長 もうしばらく実証期間が必要。

問 コミュニティバスやデマンド交通の早期検討を。

答 町長 引き続き検討していく。

答 総務課長 トンネル開通に向け、検討・研究を進めたい。

問 奈良交通バス路線の今後の方向性は。

答 町長 大事な路線であり基本的に据えて考えたい。

総合保健施設の整備場所選定は妥当か

問 整備場所を「役場隣接地」とした科学的根拠は。

答 町長 近年の土木技術の進歩もあり安全確保できる。

問 「グリーンティ和東隣接地」の評価を○から△に下げた根拠は。

答 福祉課長 科学的な数字的根拠はない。今後の地質調査で進めていく。

問 「役場隣接地」の評価を×から△に上げた根拠は。施設倒壊の危険を「ない」から「低い」に変えた根拠は。

答 福祉課長 土砂災害警戒区域指定に根拠はないと聞き評価を変更した。断定的な表現はおかしいと思いい変更した。

問 科学的根拠が全くない。結論ありきではないか。

答 町長

どちらも100%でなくベターで判断する以外はない。

コロナ禍1年を踏まえた対策は

問 コロナ禍の生活・生業への影響調査を。

答 町長 総合計画審議会で見解をいただき反映したい。

問 高齢者施設、医療機関、福祉現場等での全面的・定期的検査の実施を。

答 福祉課長 検査の必要性は理解しているが体制確保が困難。まづワクチン接種を重点的に推進したい。

問 生活や生業への支援の具体化は。

答 町長 国の予算を活用し引き続き支援を検討する。

総務厚生常任委員会

コロナ終息に向けワクチン接種がスムーズに行くよう取組む

岡田 (泰) 村山・高山 井上・小西

2月18日令和2年度の進捗状況、令和3年度当初予算の概要について事務調査を行った。

各課から主な事業の執行状況が報告された。

総務課

○新型コロナウイルス感染症の備品、消耗品の購入

○H1Pのリニューアルは3月末完成を目指す

○路線バス運行事業では、高校生定期券補助の拡充(1/2から2/3に引き上げ)。

税住民課

○マイナンバーカードの交付は、677枚の申請に対し528枚交付した

○町税は3億6563万円に対し3億2004万の収入で収納率は87%。

福祉課

○障害者自立支援事業、各種癌検診、介護保険施設入所の費用が執行された。

委員からの質問は

○現地調査では災害時ににおけるトイレ機能を確保する為、避難所である和東小学校に設置されたマンホールトイレの視察を行った。

問 木屋区のオンデマンドタクシーの予約の方法は。

答 加茂タクシーと協定を結んでおり、前日までの事前予約制で乗車費用は300円が必要。

問 和東町の専用車両の運行は。

答 費用の問題をクリアするのが一番の課題であるが、奈良交通バスと並行し、福祉有償運送の方法もある。

問 火災報知機の設置率は。

答 公共施設は100%、湯船区は区の補助により全戸設置され、町営住宅は全戸設置済み。

問 コロナ禍のためオンラインで茶源郷祭りが実行された。

実行委員の人数は、反響は。

答 企画委員として若人10数名、インターネットライブ、オンラインシヨップ等の多彩な企画があり好評だった。

問 W-I-T-Hコロナに対応した茶源郷行政情報配信システムの多様な取り組み方は。

答 オンライン診療は法律の問題が残っている。保健福祉関係、健康相談での活用は考えていきたい。

問 避難施設を利用した訓練は。

答 先ず、職員向けの訓練を。また、区長会にも協力を要請をお願いして訓練の拡散を図っていく。

問 高齢者、障害者、要介護者の家庭に健康に急を要する事態に備え非常ボタンの設置は可能か。

答 独居高齢の方、健康に不安のある方などには社協や、地域包括センターに相談の窓口がある。

問 避難所での間仕切りテナントの広さは。

答 1棟は2畳ぐらいの広さだが、家族人数に合わせて広さは対応できる。設置場所はB&G海洋センター、小中学校の体育館を想定。

一部事務組合議会報告

相楽郡広域事務組合議会

第1回定例会を2月16日に開催。杉浦代表理事から、山城南医療圏における新型コロナウイルスの医療従事者等への集団接種について、3月、4月に相楽会館で実施されるなど組合の取り組みについて報告があった。任期満了に伴う監査委員の選任について、笠置町の仲北悦雄氏を再任することと同意した。また令和3年度当初予算について全員賛成で可決した。

令和3年度一般会計予算

2億7400万円

相楽中部消防組合議会

第1回定例会を2月22日に開催。河井管理者から新庁舎建設事業は、令和2年度から4年度にかけて進めていくと報告があった。任期満了に伴う公平委員の選任について、笠置町の西窪量氏と木津川市の横谷富士男氏を再任することと同意した。火災予防条例、公務災害補償等に関する条例の一部改正について、それぞれ全員賛成で可決。補正予算について賛成多数で可決。令和3年度当初予算について全員賛成で可決した。

令和3年度一般会計予算

14億2180万円

山城病院組合議会

第1回定例会を2月5日に開催。河井管理者から新型コロナウイルス感染症に対し、今後もより緊張感を持って対応いただきたいとお願いされた。令和3年度の当初予算案では、外来患者数は、13万7940人、1日平均570人を見込んでいる。令和3年度当初予算、令和2年度補正予算、損害賠償額の専決処分の承認について全員賛成で可決した。

令和3年度病院事業会計予算
介護老人保健施設事業会計予算

85億9022万円
5億8668万円

産業常任委員会

交流ステーション完成

吉田 藤井・岡本 畑・岡田(勇)

2月17日、令和2年度事業執行状況等について事務調査を行った。

地域力推進課

○移住・定住促進住宅整備事業補助金の交付、期間の期限付き住宅の賃貸制度を検討。

○「おもてなし茶室」を釜塚・原山の茶畑を借用し設置している。

○観光案内所の12月末までの来場者数は、4589人。

農村振興課

○コロナ対策として生活応援商品券や茶業経営支援・事業者応援給付金を支給。

○交流ステーション（農産物直売所）が完成し、運営方法など説明会が実施される。

建設事業課

○白栖・別所地内で地籍調査を実施。

○祝橋整備は、3月から落橋工事に着工。

委員からの意見や質問

問 2拠点居住とは。

答 完全に移住するのではなく、余暇・観光などで週末だけそこに住む。

問 移動スーパールの利用客は増えているのか。

答 利用客も徐々に増え、生鮮食品や総菜などは1人暮らしの方にも喜ばれている。

問 「おもてなし茶室」を無料で貸し出し、釜塚・原山内の個人所有の畑に設置されたが、住民の反応は。

答 イベントをしたいとの意見もあるが、コロナで見合わせておられる。お茶を

点てたり、茶室の見せ方の動画配信も計画されている。釜塚は夕日がきれいで、原山は町内を見渡すことができ景色が素晴らしいと評価されている。

問 コロナ禍で、3年度の農泊の受け入れは。

答 上半期は受け入れをしない方向で検討しているが、今後オンライン観光のあり方も考えたい。

問 生活応援商品券を3741人に交付されたが、どこに使われたのか分析は。

答 換金先は30業者で、食料品店に49%、総合販売に23%、ガソリンスタンドに10%などが主な使い道です。

現地調査では、交流ステーションの運営方法や各販売コーナーの特徴や考え方、内容などの説明を受けた。



広域連合議会報告

相楽東部広域連合議会

第1回定例会を2月26日に開催。クリーンセンター擁壁等の安全対策や3町村の今後のごみ処理やGIGAスクールなどについて一般質問された。職員定数条例の一部改正、京都府市町村退職手当組合加入により、退職手当条例の廃止について、全員賛成で可決。令和3年度当初予算及び令和2年度補正予算について全員賛成で可決した。

令和3年度一般会計予算 8億3971万円

京都府地方税機構広域連合議会

第1回定例会を2月3日に開催。議員の異動により6名の議員が新たに連合議員となった。令和3年度当初予算及び職員定数条例の一部改正について賛成者多数で可決。令和2年度補正予算について全員賛成で可決した。

令和3年度一般会計予算 23億762万円

京都府後期高齢者医療広域連合議会

第1回定例会を2月12日に開催。保健事業等支援基金条例や後期高齢者医療給付費等準備基金条例の制定について全員賛成で可決。後期高齢者医療に関する条例の一部改正と専決処分の承認について全員賛成で可決。令和3年度当初予算は全員賛成で可決。第4次広域計画の策定や債権管理条例の制定について賛成多数で可決した。請願書が1件出されたが、賛成少数で不採択となった。

令和3年度一般会計予算 10億4500万円
医療特別会計予算 3762億5792万円

まちの

“元気”を
訪ねて

“たくさんの人と出会い、つながりを大切に
自分のふるさとにしたい” ~原山 松見 敬彦さん、弘美さん~

昨年11月末に大阪から移住された松見さんにお話を伺いました。

Q 和東に移住してこられたきっかけは？

A 元々田舎暮らしに興味があり大阪市内へのアクセスがよい地域を探していたところ、移住の相談イベントで和東町と出会いました。その中で先輩移住者のお話を伺い、和東への移住を歓迎してもらえたことが嬉しくその日に移住を決めました。実際和東町を訪れ、他の地域にはない茶畑の景観にすごく惹かれ、また生業と景観が一体となっていて魅力を感じました。地域の方々もすごく優しくしてくださって、空き家バンク制度を利用してこちらの原山の物件に住むことを決めました。

Q 和東の印象は？

A 一番に人ですね。近所の方々に良くしてもらっています。催しの案内をしていただいたり野菜やストープ用の薪をいただいたり日々声をかけていただき優しさに触れています。人と人との交流を求めているので大変嬉しく感じています。大阪に住んでいた時は近所の方々の交流もなく自分のまちという感覚はなかったもので、和東の住民として住んでいくうちに和東町が自分のふるさとになっていったらいいなと思っています。

Q 実際に住んでみて、苦労されたことは？

A 苦労っていうほどの苦労ではないですが、強いて言えば寒いことです。最初はストープも置いていなかったので寝るときも震えていました。また水道管が凍結して水が出なかったときは初めての経験で驚きました。

Q これから和東でやってみたいことは？

A 畑など農作業もやってみたいと考えています。また私自身ライターの仕事をしていまして、ライターとして和東町のことを発信するような仕事があればお手伝いしたいと思っています。



(取材 小西 啓・村山 一彦)

編集後記

今年も新茶の季節がやってきました。1年前のこの時期、来年はコロナも治まり、元の生活に戻っているだろうと誰もが思っていたことでしよう。しかしコロナウイルス感染の勢いは止まることなく猛威をふるい、改めてコロナ感染症の恐ろしさを痛感し、終息を祈るばかりです。

4月19日、「宇治茶」の初市が行われ、和東町産の手もみ煎茶が最高落札価格という明るいニュースがとびこんできました。コロナ禍で経済や暮らし、また茶業においても4月に入り、霜被害にあつたなど暗い影を落としている中、喜ばしいニュースとなりました。

今回の議会だよりは、令和3年度当初予算の審議内容となっております。予算特別委員会では活発な質疑が展開されました。

また、広報編集委員も新しいメンバーとなり、今後も議会を身近に感じていただけるよう分かりやすい議会だよりを目指してまいります。

(小西 啓)

広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 小西 啓 |
| 副委員長 | 村山 一彦 |
| 委員 | 藤井 清隆 |
| 委員 | 吉田 哲也 |
| 委員 | 岡田 泰正 |

第2回定例会は、6月中旬開催予定。